

人 チーム 制度



### 今の時代に私が選んだ働き方

(株)建設技術研究所大阪本社  
道路・交通部都市室 阿部 正太朗さん

今回ご紹介するのは(株)建設技術研究所で都市・交通計画の仕事に携わる阿部さん。現在、3歳と1歳の2人のお子さんを育てながら、仕事をされています。

#### これまでの経歴を簡単に教えてください。

大学院で低未利用地の研究をしていました。駐車場や空き地などが地方都市中心部のどこに発生しているのかを定量的に分析していました。

就職した初年度は、バリアフリーや都市計画道路見直し、渋滞対策、防災計画、PFI アドバイザリなど、多様な業務に携わりました。

その後は担当業務を絞り、現在は公共交通計画関連業務を主に担当しています。ただ、バリアフリーや渋滞対策業務等にも継続して携わっています。

#### 時短勤務制度を利用することとなったきっかけは何でしたか？

2人目の子どもができた頃、仕事と育児を両立する働き方ができないか、そのことを意識していました。子どもは1歳違いの年子で、1人目の子どもが、まだまだ目を離せない時期に2人目の育児が必要となり、妻への多大な負担が心配でした。

その様なことを考えているとき、上司から育児休業制度の中の時短勤務を紹介されました。妻にも相談したところ、「それは助かる」ということだったので、利用してみることにしました。

通常の始業は午前9時ですが、時短になると子どもが小学6年生になるまで、午前10時の出社が認められています。最初は仕事への影響を考え、試験的に導入しましたが、今では、すっかり馴染んでしまい、朝の1時間がなくてはならない時間になっています。

#### プロフィール

氏名 : 阿部 正太朗  
所属 : (株)建設技術研究所大阪本社  
道路・交通部都市室  
勤続年数 : 5年  
資格 : ・技術士  
(都市及び地方計画)  
・工学博士  
居住地 : 兵庫県伊丹市  
家族構成 : 妻/長男(3)/長女(1)  
勤務状況 : 育児短時間勤務(時短)

#### 時短勤務をするにあたって、業務上工夫されている点や、自身の中で変わったことはありますか？

仕事をする上で意識していることは2つあります。1つは自分の仕事の優先順位を考えること、もう1つは一人で仕事をするのではなく、企業の一員として仕事をする事です。

毎朝出社すると必ず一日の業務を見て優先順位を決め、ToDoリストでタスクを管理します。作業効率化のためには、仕事の優先順位を考え、優先度が高いものから処理していくことが求められます。突発的な事案が発生したら、チームの中で業務分担をして業務の効率化と平準化を図ります。これについては、チームの他のメンバーの中にも子育て中の男性がいますから、お互いに声をかけてフォローし合いながら、限られた時間内でスピーディに業務を完了させるように努めています。

時短勤務をすることで私の中で変わったのは、今まで以上に時間管理に気をつけるようになったことでした。1時間遅く出社して、1時間遅く退社していたら意味がありません。

とはいえ、コンサルタントはサービス業です。お客様に喜んでいただくには、じっくり時間をかけて相手が望んでいる以上の情報を調べ、お客様の選択肢を増やすことも重要です。だから、時間とクオリティの2つを常に意識するようになりました。

#### これからこんな仕事や働き方がしたい!という目標はありますか？

当面の仕事の目標は、管理技術者として、プロジェクトの全体をコントロールできる立場になることです。一方で、どれだけ忙しくても、エンジニアとして、研究者としての自分の成果を、学会等に積極的に発表していきたいです。このような目標を基に取り組むことで、コンサルタントの新しい働き方を示したいと考えています。育児や家事をしつつ、仕事をしつつ、個人研究もするような生活を送ることが目標です。

